

## リーディングDXスクール事業【実践事例】

足立区立第十四中学校

## 【取組内容①】『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的な充実

・「総合的な学習の時間」を中心にスライドやJamboardを活用し、一人一人が探究的な活動を行っている。

「総合的な学習の時間」で立ち上げているプロジェクトの取り組みで活用  
 ・第2学年において、「会社をつくろうプロジェクト」の際に活用。

・第2学年における「会社をつくろう」プロジェクトの実施

《取り組み内容》

- ・生徒一人一人が起業家となって、都内に会社を立ちあげるとしたらどんな会社を立ち上げるかを考え、会社の社長となって会社の特色をタブレットでまとめていく活動

《工夫している点》

- ・職場体験と関連付けたり、校外学習と関連付けたりすることで、実体験もプロジェクトに盛り込むことで、より質の高いプロジェクトになるようにしている点。
- ・ESDの視点を必ず含ませたりすることで、持続可能な社会の形成者としての意識も盛り込んでいる点。
- ・必ず、根拠を提示できるように意識したり、実現可能性の高い提案を心掛けながら活動をしている点。



《取り組みにおける現段階での生徒の変容》

- ・より質の高い会社をつくろうと、多面的・多角的に考察しようとする生徒の増加
  - ★グラフ教材の活用
  - ★現存する企業の売り上げの考察
- ・自然発生的に互いに自社の簡易的なプレゼンをし合い、アドバイスを出し合う生徒の増加

## 【取組内容①】『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的な充実

・外部人材を活用する際に、講演会の中でタブレットを活用した講演会の実施を行っている。

・職場体験前の「職業人講話」の際に活用。

## ・職場体験前の職業人講話の実施

## 《取り組み内容》

・「働くためにはどのようなことが大切か」「持続可能な社会を実現していくために企業ができることは何か」をテーマにゲストティーチャーに講演をいただき、テーマに対して生徒一人一人が考えを整理していく活動

## 《工夫している点》

・事前に質問したいことをフォームに投稿したり、当日体育館にタブレットを持参し、その場で感じたことや疑問をフォームに投稿する中で、ゲストティーチャーから可能な限り回答をいただく場面を作っている点。

・「会社をつくろう」プロジェクトと関連付けるために、講演を聞きながらまとめているスライドに追記できることがあれば随時その場で追記出来る時間を設けた点



9月4日(月)5・6校時の職業人講話の感想をお書きください。

174件の回答

今までに考えたことのない考え方や捉え方を知れました

社会に出たときにとてもためになる話でした。ありがとうございました。

講話をしてもらいいろんなことをまなびました。そのことを職場体験や今後の社会に活用していけばなともいえました。いい経験になりましたありがとうございました。

## 《取り組みにおける現段階での生徒の変容》

・その場で、疑問に感じたことや学んだことを整理することができたことで、職場体験への意識や今後の生活につなげていこうとする意欲が高まった生徒の増加

## ★フォームにおける感想

・自社で働いてほしい人材の抽象的なイメージから具体的なイメージへの変容

★例：「この業種が好きな人」→「〇〇な力を持っている人」

## リーディングDXスクール事業【実践事例】

足立区立第十四中学校

## 【取組内容①】「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながるクラウド活用」

・授業における生徒の振り返りをスプレッドシートに書き込ませ、学級内で共有している

## ・授業におけるスプレッドシートの活用。

## ・スプレッドシート等を活用した学びの充実を意識した授業の実施

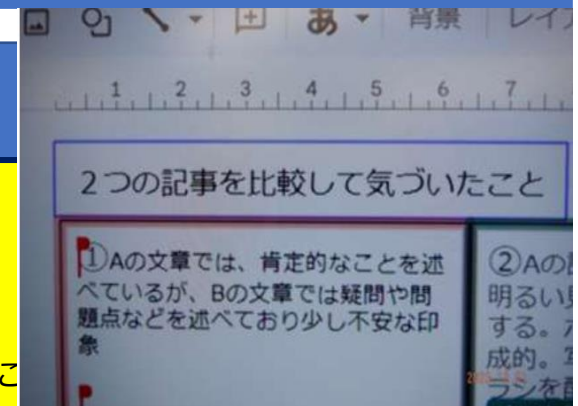
## 《取り組み内容》

・授業で、スプレッドシート等を活用し、学習したことの共有や学びの整理をする活動

## 《工夫している点》

・考える活動において、学びが止まってしまっている生徒に対して他者の考えを参考にしてよいことを生徒に伝えることで、学びを止めないようにしている点。

・タブレット端末の活用が生徒一人一人の学びの充実につながるように、授業改善推進委員（本校の特設委員会）を中心に実践事例の共有と分析を行っている点。



信用があるものには近い土地を与えても安心だから。幕領>親藩>外様大名

幕府として信用できる者たちに近く土地を持たせ、まだ信用が足りないものには裏切りなどが起きる可能性があるため、遠くの幕府として領地を持たせている。



## 《取り組みにおける現段階での生徒の変容》

・手書きで考えを記入する場合より、考えを記入しやすくなった生徒の増加

## ★スプレッドシートの記入の様子

・スプレッドシート等を活用し、情報共有をすることで、学びがとまっている生徒の減少

## リーディングDXスクール事業【実践事例】

足立区立第十四中学校

## 【取組内容②】「インターネット上の動画教材の活用、外部専門家によるオンライン授業の実施」

・各教科の学びを深めたり、外部人材を活用したりしている。

・オンラインを通じた海外の生徒との交流会の実践。

・オンライン交流会の実践

《取り組み内容》

・生徒会のメンバーが、台湾の中高生の代表生徒と交流会をオンラインで行い、校則について考える機会や協働的な学びを進めていくためのアイデアを出し合う機会を設ける。

《工夫している点》

・事前に、相手校の先生方と教員同士でコミュニケーションをとり、事前打ち合わせを行いスムーズな進行をアシストする。

・事前に、生徒会メンバーが議論したいことを整理し、必要に応じて全生徒にフォームを通じてアンケートをとったり、相手校と協働的な取組として何かできないかがないかを考えたりする時間を十分に設けている。

《取り組みにおける現段階での生徒の変容》

・生徒会からの校則への主体的な議論や、取組に対する提案書や要項の数の増加

★生徒会からの提案数

・生徒会からの取組における提案書や要項の数が増加し、実践・成果報告の機会の増加。

★生徒会メンバーへのインタビュー

「海外の中学校や高校と学校の様子、普段の生徒会の活動について互いに話し合うことを通して、生徒が主体的に学校をよりよくするためにどのような活動が今後必要になっていくかを考えるきっかけとなりました。」



## リーディングDXスクール事業【実践事例】

足立区立第十四中学校

## 【取組内容③】「端末の日常的な持ち帰りによる家庭学習の充実」

- ・諸連絡をGoogle classroomから配信している。
- ・授業で扱った教材をGoogle classroomにアップして、家庭でも復習ができるようにしている

## ・家庭学習におけるGoogle Classroomの活用。

- ・授業で学習したことを家庭で復習しやすい環境づくり

## 《取り組み内容》

- ・授業で活用した資料をGoogle Classroomにアップし、授業で学習した内容を家庭で復習し、朝学習でAIドリルを活用し復習を行う。

## 《工夫している点》

- ・個人作業に使う教材の場合は「各生徒にコピーを作成」、情報を共有するために使う教材は「生徒がファイルを編集できる」、読み取り用の教材は「生徒がファイルを閲覧できる」と用途によって、使い分けアップをしている。
- ・「生徒がファイルを編集できる」を活用する場合には必ず、活用上のモラルについて授業でその都度話をしてからClassroomにアップしている。

## 《取り組みにおける現段階での生徒の変容》

- ・家庭学習の充実と朝学習の関連付けにより、取り組み当初より、朝学習におけるAIドリルの正答率が上がってきている。

## ★AIドリルの正答率の様子

- ・家庭学習ノートを活用していた時よりも、家庭学習の実施率の増加



地理 (NO.66/中国・四国地方の工業)

投稿日: 2月8日

期限なし

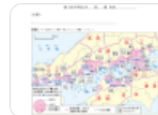
授業プリントです。

0

提出済み

38

割り当て済み



地理の達人 NO66  
Google ドキュメント



地理NO.66 (5組)  
Google スプレッドシート

手順を表示

## リーディングDXスクール事業【実践事例】

足立区立第十四中学校

## 【取組内容④】「対話的・協働的な校内研究・小中連携」

・スプレッドシートやフォームを活用し、行事のアンケートを集計したり、授業における協議会でJamboardを活用したりしている。

## ・協議会におけるJamboardの活用。

## ・研究授業の協議会のJamboardの活用・実践

## 《取り組み内容》

・足立区授業力改善推進校として行った研究授業の際の協議会でJamboardを活用し、互いの意見を共有しながら議論を行った。

## 《工夫している点》

- ・事前にJamboardの使い方の研修を行い、使い方を学ぶ機会を設けている。
- ・協議会メンバーの構成について、教科の枠を越えて、教科の専門性における議論ではなく「生徒の主体的な学び」に着目した議論を行うようにしている。

## 高橋先生

「協働的な学習」が「めあて」の達成につながるものであったか。

4人班を作り、班のメンバーで話し合いながらできていたので、わからない生徒や苦手な生徒のフォローにも繋がっていた。

既存の知識をかしながら、新たな知識を「獲得する」ための手立てとしてとても有効な協働学習だったと思う。

個人では、限られた時間のなかで達成できなかった学びが、お互いに教え合うことでよりスムーズに進められていた

既存の知識を活用しながら、新たな知識を「獲得する」ために有効な協働学習だと感じる。



## 《取り組みにおける現段階での教師の変容》

- ・付箋を使った協議会に比べ、書くことに時間を割くのではなく、議論に時間をかけることができるようになり、議論が活発化した。
- ★アンケート結果の様子
- ・協議会における主体性や授業改善の意欲が向上したと考える教師の割合の増加